

造影検査を受けられる方へ

(造影CT、血管造影、腎盂造影(DIP)、胆道造影(DIC))

造影剤について

造影剤とは、画像診断において画像コントラストをつける検査薬で、病気の有無、性質、範囲などをより正確に判断するために用います。通常は静脈注射で行います。投与された造影剤は、腎機能が正常であれば速やかに腎臓から尿として排出されます。

1, 造影剤の副作用について

- ①軽い副作用：吐き気、動悸、頭痛、かゆみ、発疹などの症状が出現した場合、点滴を行うことがあります。このような副作用が発生する確率は約100人に5人以下、つまり5%以下になります。
- ②重い副作用：呼吸困難、意識障害、血圧低下などがあり、このような副作用は通常治療が必要で後遺症が残る可能性があります。このため入院や手術が必要になることがあります。病状、体質により約10～20万人に1人(0.0005～0.001%)の割合で死亡することがあります。このような重い副作用の発生する確率は非常に稀といえる数字ではありますが、100%安全な検査ではないことをご了承ください。

緊急時の対応：検査中は、CT検査室に常に看護師と放射線技師がおり、万が一副作用が生じた場合には院内医師が迅速に対応します。

2, 遅発性副作用について

ごくまれに数時間から数日後、(多くは2日以内)に副作用が現れることがあります。(発疹、かゆみ、むくみ、吐き気、のどのイガイガ、咳、冷や汗、動悸、脱力感、めまい等)また注射部位の痛みや、内出血、腫脹、発赤等が数日間持続する場合があります。

検査前のご注意

1, 食事制限

検査の方は当日、食事を取らないでください。糖尿病薬以外のお薬は通常通り内服してもかまいません。検査自体の水分摂取の制限はありませんが、画像に影響を与える可能性がありますので検査前は水を摂取し、ジュースやお茶などは避けてください。

2, 糖尿病薬の制限(造影剤を鹿用する検査前後2日間の休薬)

以下の糖尿病薬を内服中の方は 月 日 ~ 月 日まで内服を中断してください。

ビグアナイド系 糖尿病薬	メルピン、メトホルミン、グリコラン、ネルビス、メデット メトリオン、ブホルミン、ジベトン、ジベトス、メトグルコ
-----------------	--

3, 授乳について

授乳中に検査を受けられる場合、検査前に2日分の搾乳を行ってください。なお造影剤が母乳に移行している可能性があるため検査後2日間に搾乳した母乳は飲ませないでください。

検査室で造影剤を注入するときには

- ①注入直後、体が熱く感じるがありますが、直接刺激のため心配ありません。
- ②勢いよく造影剤を注入するために、血管外に造影剤が漏れることがあります。この場合には注射部位が腫れて痛みを伴うことがあります。基本的に時間が経てば吸収されるので心配ありません。非常に稀ですが、漏れた量が多い場合には処置が必要になることがあります。

検査後のご注意

- 1, 検査が終わった後には造影剤を早く体外に出すために、無理しない程度に水分をお取り下さい。
- 2, 検査の結果(入院になる場合など)によっては禁飲食になる場合がありますので、ご不明な点は医師、看護師にお尋ねください。
- 3, 検査終了後1時間～1週間までの間に発疹やかゆみなどの皮膚症状が遅れて現れる場合があります。そのような症状に気づいた時には当院までご連絡ください。

医療法人社団史世会 町田胃腸病院

電話 042-726-6511